

水道事業中期経営計画の3年目となる平成30年度施策について、基本目標1～3に位置づけた7つの主要施策のうち、4施策を「a：成果が出ている」、3施策を「b：概ね成果が出ている」と評価しました。また、経営状況については、平成30年度は29年度と同じく、水道事業全体の経営の健全性・効率性は維持されているものと考えられます。以上のことから、計画全体としては予定していた成果を得ることができたと考えています。

○主要施策の成果（施策全体）のうちb評価となった項目について

（1）安定給水の確保

施策の成果目標（浄水場や管路の事故割合）は達成したものの、主な取組のうち、浄・給水場の更新・整備について、一部工事の進捗に遅れがあったことから、b評価としました。

（5）おいしい水の供給

施策の成果目標（水道水の飲み水としての満足度）が達成できず、主な取組のうち、おいしい水づくりの技術的な取組で行っている設備工事が未完了であったことから、b評価としました。

（6）お客様サービスの推進

施策の成果目標（県水だより及びホームページ満足度）が達成できず、主な取組のうち「お客様の声」を活かした事業運営及び接客マナーの向上の数値目標が達成できなかったことから、b評価としました。

○運営基盤の強化（人材・業務能率・経営）の評価について

運営基盤の強化においては、内部管理に関する主な取組を実施し、基本目標1～3の事業に掲げた主な取組の推進を下支えすることとしています。これらの取組により、基本目標に位置づけた7つの主要施策の達成を目指し、この主要施策の達成度を成果指標にするとともに、経営状況を踏まえて、計画全体を評価しています。

平成30年度実績については、内部管理の各取組はすべて「a：達成している」と評価しました。7つの主要施策の達成度は平均で95%となり、成果目標（95%以上）を達成できました。また、各種の指標から、経営の健全性・効率性については維持されているものと考えられることから、計画全体としては「a：成果が出ている」と評価しました。

基本目標	主要施策			主な取組	
	項目	内部評価	達成度	項目	内部評価
1 「強靱」な水道の構築	(1) 安定給水の確保	b	95%	① 水源の安定化 ② 浄・給水場施設の更新・整備 ③ 浄・給水場設備の更新・整備 ④ 管路の更新・整備	— b b a
	(2) 耐震化の推進	a	100%	① 浄・給水場施設の耐震化の推進 ② 管路の耐震化の推進	a a
	(3) 危機管理体制の充実	a	100%	① 緊急時に備えた体制の充実 ② 給水区域内11市等関係団体との連携強化 ③ 浄水施設の危機管理対策の強化	a a a
2 「安全」な水の供給	(4) 安全な水づくり	a	100%	① 水源の監視・保全 ② 高度浄水処理の拡充 ③ 水質管理レベルの維持・向上	a a a
	(5) おいしい水の供給	b	85%	① おいしい水づくりの技術的な取組 ② 安全でおいしい水キャンペーン ③ お客様とのコミュニケーション	b a a
3 お客様からの「信頼」の確保	(6) お客様サービスの推進	b	85%	① 「お客様の声」を活かした事業運営（広報・広聴の充実） ② 接客マナーの向上 ③ 新たな水道料金システムの開発と上下水道料金徴収一元化の実施	b b —
	(7) 大規模事業体の責務と社会貢献	a	100%	① 省エネルギー化の推進及び再生可能エネルギーの活用 ② 資源リサイクルの推進 ③ 県内水道の統合・広域化に向けた検討 ④ 国際貢献及び他事業体への支援	a a — a
達成度の平均			95%		

③ ○事業全体でどれぐらいの成果を達成できたか。
○維持・強化された運営基盤のもと、どのような経営を行ったか。

運営基盤の強化	内部評価	主な取組	内部評価
成果として、事業の成果の達成状況及び経営状況を踏まえて、計画全体を評価	主要政策の達成度の平均：95% 成果目標：95%以上	① 実践的な技術研修の実施	a
		② 職員の育成と能力開発	a
		③ 計画的な人材確保	a
		④ 民間活力の活用による事業の推進	a
		⑤ 情報化の推進	a
		⑥ 品質確保に留意したコスト削減	a
		⑦ 健全経営の確保	a

① 「運営基盤の強化」の7つの内部管理に関する主な取組を実施することにより、基本目標1から3の事業に関する22の主な取組の推進を下支え
 ② 22の主な取組を推進することで、7つの主要施策に掲げた成果を達成
 ③ 「運営基盤の強化」の成果としては、計画全体を支える存在として、事業全体でどれぐらい成果を達成できたかと併せて、全体をマネジメントする位置づけとして、維持・強化された運営基盤のもと、どのような経営を行ったかを踏まえて評価